

平成 30 年度第 1 回区政会議

こども青少年部会資料

その他資料

L G B T 問

入 門 セ ミ ナ ー



LGBTってなあに？

最近よく聞くLGBTって？

LGBTの当事者とアライ(協働パートナー)が、ご自身の経験とLGBT(性の多様性)を理解するための基本をわかりやすく説明します。

■日 時：7月29日(土) 13時30分～15時30分

■場 所：港区役所 5階 会議室

〒552-8510 大阪市港区市岡1-15-25

■講 師：レインボー3710

大祐(だいすけ)さん、もりさん、しょうなんさん

■対象者：区内在住・在学・在勤の方 ※学生の参加、歓迎します

■定 員：50名(当日、先着順です) ※手話通訳あります

■問合わせ先：港区役所 協働まちづくり推進課

電 話：06-6576-9975 FAX:06-6572-9512

メール：tg0002@city.osaka.lg.jp

LGBTは、レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダーの英語の頭文字をとったもので、身体の性が典型的でないインターセックス(性分化疾患)等、全ての性的マイノリティを指して用いる場合もあります。

レインボーみなりん

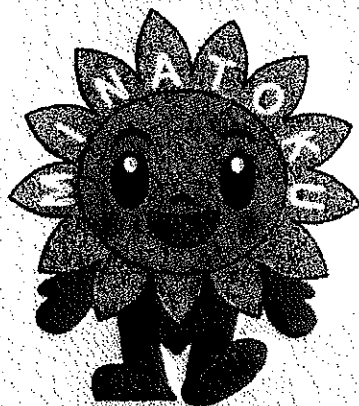
LGBTを象徴する6色のレインボーカラーは性の多様性だけでなく「人間の多様性を守る」という思いを込め、世界共通で使われています。港区では、多様な人々が自分らしくいきいきと暮らすことができる地域づくりを進めており、港区のキャラクターのみなりんの背景にも6色の虹をあしらった「レインボーみなりん」をつくり取組みを推進しています。



主催：港 区 役 所
港区人権啓発推進協議会

スクールカウンセラーによる

不登校に関する講演会



不登校についての理解や不登校のこどもとのかかわり方や親子でともに歩んでいく方法、こども相談センターや区役所などの支援機関との繋がり方等についての講演会を開催します。

10月21日(土) 午後2時～4時

※前半は講演、後半は講師との座談です。

講演のみの参加もできます。

月城 美咲さん(臨床心理士・スクールカウンセラー)

◆定員: 30名(先着) ◆費用: 無料

◆場所: 港近隣センター1階 第2会議室
(大阪市港区八幡屋 1-4-20)

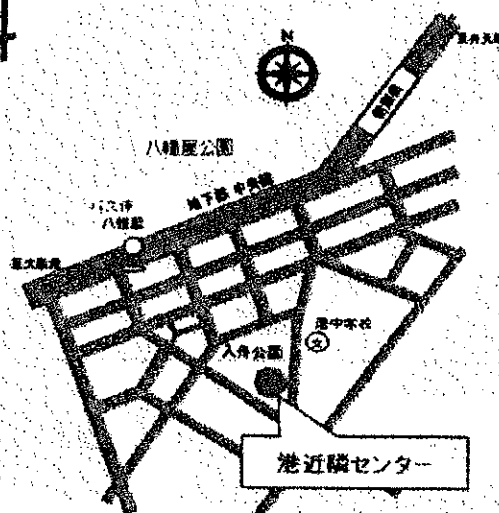
◆対象: 港区在住・在勤・在学の方

※手話通訳あります

◆申込: 電話、FAX、メールのいずれか
(当日空きがあれば受講可)

※手話通訳が必要な方は17日(火)までに連絡ください

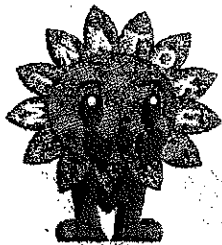
※講演会の間、お子様は同時に開催している港区サードプレイス「エルカフェ」に参加していただけます



◆問い合わせ先: 港区役所 協働まちづくり推進課(教育・人権啓発グループ)

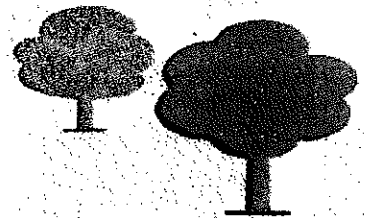
TEL:06-6576-9975

FAX:06-6572-9512



臨床心理士による

土曜教育相談



こどもが学校に行きたがらない、落ち着きがない、いじめるいじめられる、乱暴なことをする、集団になじめない、勉強がわからない……など、ひとりで悩まず気軽にご相談ください。相談時にはお子様はエルカフェ（下記参照）に参加することもできます。

実施場所：港近隣センター（港区八幡屋 1-4-20）

実施日時：毎月第3土曜日 午後2時～4時

申込方法：前日の正午までに、港区役所協働まちづくり推進課
(TEL: 6576-9975) までお申込みください。

エルカフェ

★開催場所：港近隣センター（港区八幡屋 1-4-20）

★開催日時：毎月 第1月曜日 午後3時～5時
第3土曜日 午後2時～4時

港区在住の小・中学生を対象に、家庭でも学校でもない第3の居場所(サードプレイス)を提供し、工作などの創作活動を中心に希望を聞いて参加者が楽しめる様々な活動を行います。勉強をすることもできます。ボランティアや参加者同士のつながりの中で、様々な人々との交流をとおして、コミュニケーション能力や人間関係形成能力をはじめとした生きる力・学ぶ力を育む、こどもの居場所をめざします。スタッフは地域で豊富な青少年活動の経験をもつ人々が中心となって担っており、守秘義務を課していますので、不登校など課題を抱えているこどもの参加にも対応することができます。こどもをつれてくるのが難しい場合は、スタッフによる送り迎えもできます。問い合わせは上記の港区役所協働まちづくり推進課まで。



主催：港区役所

運営協力：こどもたちの笑顔をつなぐ会

こどもたちの笑顔をつなぐ会

この会は、地域のこどもたちにかかわってきたメンバーが、「地域社会におけるこども及び保護者の学校・職場でもない家庭でもない第3の居場所(サードプレイス)づくり」を目的としてつくった会です。エルカフェの運営協力と、メンバーの中のこどもが不登校になった経験をもつ人が中心となって、**不登校のこどもをもつ親の集まり「サロン de ゆるり」**を開催しています。同じような思いをもつみなさんと何でも話せ、ゆる～り・ほっこりできる居場所に集いませんか？

●開催場所：港近隣センター（港区八幡屋 1-4-20）

●開催日時：毎月第3土曜日 午後2時～4時

●対象者：18才以下のお子様の保護者

●参加費：100円（お茶・お菓子）

●問合せ：港区社会福祉協議会 TEL 6575-1212

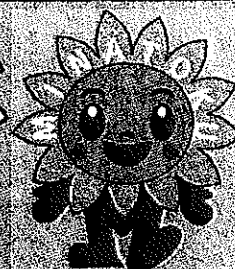
集まりのルール

★ここで話された内容は秘密厳守です。

★みなさんが気持ちよく安心してお話できるよう、お互いに心がけます。



起立性調節障害の理解と 子どもへの接し方



講師 **吉田 誠司** 先生
(大阪医科大学附属病院 小児科医)

日本小児心身医学会によれば、不登校の子ども約3～4割が起立性調節障害を有しています。起立性調節障害は、自律神経の調節に障がいがあるために血圧の回復が非常に遅く、脳への血流不足により、朝に起きられない・頭痛・立ちくらみ・けんたい感などの症状が特に午前中に多く見られる病気です。

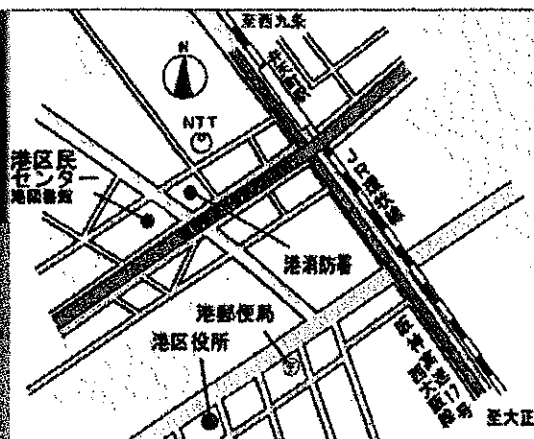
起立性調節障害の診療において先進的な取組を行っている大阪医科大学付属病院小児科で、起立性調節障害の専門医をされている吉田先生をお招きして講演会を開催します。

日時: **12月25日(月)**

13時30分～15時

場所: **港区民センター ホール**

(大阪市港区弁天 2-1-5)



★参加費: 無 料

★定 員: 100名 (先着申込順。当日空きがあれば当日参加も可)

★申 込: 電話、FAX、メールのいずれかで下記申込先へ

※手話通訳が必要な方は21日(木)までにご連絡ください。

※講演会の間、小中学生のお子さまは同時に開催している「エルカフェ」(このチラシ裏面参照)に参加していただけます(事前申込が必要です)

申込・問合せ先: 港区役所 協働まちづくり推進課(教育・人権啓発グループ)

TEL 06-6576-9975 FAX 06-6572-9512 Eメール: tg0002@city.osaka.lg.jp

エルカフェ

みなさんのご参加
お待ちしております♪

★開催場所：港近隣センター(港区八幡屋 1-4-20)

★開催日時：毎月 第1月曜日 午後3時～5時
第3土曜日 午後2時～4時

※平成30年1月1日
月曜日のエルカフェは
お休みします。



港区在住の小・中学生を対象に、家庭でも学校でもない

第3の居場所(サードプレイス)を提供し、工作などの創作活動を中心に希望を
聞いて参加者が楽しめる様々な活動を行います。勉強をすることもできます。

ボランティアや参加者同士のつながりの中で、様々な人々との交流をとおして、コミュニケ
ーション能力や人間関係形成能力をはじめとした生きる力・学ぶ力を育む、こどもの居場所
をめざします。スタッフは地域で豊富な青少年活動の経験をもつ人々が中心となって担っ
ており、守秘義務を課していますので、不登校など課題を抱えているこどもの参加にも対応す
ることができます。こどもをつれてくるのが難しい場合は、スタッフによる送り迎えもでき
ます。問い合わせは上記の港区役所協働まちづくり推進課まで。

主催：港区役所

運営協力：こどもたちの笑顔をつなぐ会

こどもたちの笑顔をつなぐ会

この会は、地域のこどもたちにかかわってきたメンバーが、「地域社会におけるこども及び保護者
の学校・職場でもない家庭でもない第3の居場所(サードプレイス)づくり」を目的としてつくった会
です。エルカフェの運営協力と、メンバーの中のこどもが不登校になった経験をもつ人が中心となっ
て、**不登校のこどもをもつ親の集まり「サロン de ゆるり」**を開催しています。同じような思
いをもつみなさんとは何でも話せ、ゆる～り・ほっこりできる居場所に集いませんか？

●開催場所：港近隣センター(港区八幡屋 1-4-20)

●開催日時：毎月第3土曜日 午後2時～4時

●対象者：18才以下のお子様の保護者

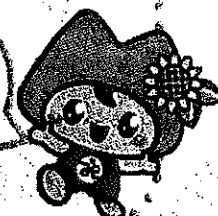
●参加費：100円(お茶・お菓子)

●問合せ：港区社会福祉協議会 TEL 6575-1212

集まりのルール!!

★ここで話された内容は秘密厳守です。

★みなさんが気持ちよく安心してお話
できるよう、お互いに心がけます。



不登校等について相談できる窓口

	内容	相談日時	お問い合わせ
教育相談	不登校やいじめなど、教育に関する相談をお受けします。 また、障がいのあるこどもの、学校・家庭での対応や配慮、 就学や進学など、特別支援教育に関する相談をお受けします。 基本的には学校園と連携して相談を進めていきます。 ※面談(要予約)	月曜日～金曜日 (祝日、年末年始を除く) 9時～17時30分	こども相談センター (中央区森ノ宮1-17-5) 総合相談窓口 電話:06-4301-3100 ファックス:06-6944-2060
家庭児童相談	子どもの発達についての悩みごとや家庭での養育・不登校・非行・虐待など について家庭児童相談員・虐待相談担当・保育士が相談に応じます こども相談センターの児童福祉司が出張相談で応じます	月～金曜日 9時～17時30分 ※児童福祉司による相談 (要予約)火曜日	港区役所 保健福祉センター保健福祉課 (子育て支援室) 06-6576-9844
土曜教育相談	臨床心理士(大阪市のスクールカウンセラー)による教育相談を実施していま す。こどもが学校に行きたがらない、落ち着きがない、いじめられられる、乱 暴なことをする、集団になじめない、勉強がわからない……など、ひとりで悩まず 気軽にご相談ください。相談時にはお子様はエルカフェ(上記参照)に参加する こともできます。 実施場所:港近隣センター(港区八幡屋1-4-20)	実施日時:毎月第3土曜日 午後2時～4時	申込方法:前日の正午までに、 港区役所協働まちづくり推進課 TEL:6576-9975 FAX:6572-9512 までお申込みください。
スクールカウンセ ラー による相談	スクールカウンセラーに相談したい方は… ※基本的には教頭先生が窓口です。 次のような方は右記ところに電話もしくはファックスしてください。 ・国立・私立の学校に通わせている方 ・所属の学校には話しにくい方など	月曜日～金曜日 (祝日、年末年始を除く) 受付時間: 9時30分～17時15分	電話:06-4301-3141 ファックス:06-6944-2064

ADHDの子どもへの理解と支援

～その子のままで、どんどん能力を発揮するコミュニケーションスキルとは～

文部科学省が平成23年度に行った調査では、発達障がいの可能性のある特別な教育支援を必要とする児童生徒は約6.5%の割合で通常の学級に在籍している可能性を示しています。発達障がいのある人は、他人との関係づくりやコミュニケーションなどがとても苦手ですが、優れた能力が発揮されている場合もあり、周りから見てアンバランスな様子が理解されにくい障がいです。発達障がいの人たちが個々の能力を伸ばし、社会の中で自立していくためには、子どものうちからの「気づき」と「適切なサポート」、そして、発達障がいに対する私たち一人ひとりの理解が必要です。

そこで、今回は、発達障がい児・家族サポートセンター『Live with～ともに生きる～』代表である薮本さんをお招きし、発達障がいの1つであるADHDの子どもへの理解や支援についての講演会を開催します。

※ADHD(注意欠陥/多動性障がい)とは、「集中できない(不注意)」「じっとしていられない(多動・多弁)」「考えるより先に動く(衝動的な行動)」などを特徴とする発達障がいです。



講師：薮本 啓子 さん

発達障がい児・家族サポートセンター
『Live with～ともに生きる～』代表

◎薮本啓子さん プロフィール

3人の発達障がいのお子さんを育てながら、同じ悩みを持つお母さん達と学び合い共感し子育てできればという思いで、和歌山県でADHDの親の会を立ち上げ、特別支援教員としての資格を取り、イベント等を行い活動。また最愛のお子さんを病気で亡くされた辛い経験も家族や周りの人たちに伝えられて乗り越えた経験から、自身が日本メンタルヘルス協会公認心理カウンセラーの資格も取得し、「発達障がい児・家族サポートセンター『Live with～ともに生きる～』」を立ち上げ、現在は、講演・執筆のほか、カウンセリング、不登校対応、発達障がい児学習サポートなどを行っておられます。

日時 **3月27日(火)**午後1時30分～午後4時

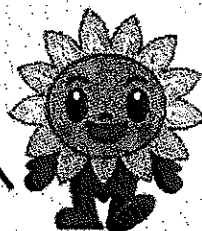
★場 所：港区役所5階会議室（大阪市港区市岡 1-15-25）

★参加費：無 料

★定 員：80名（先着申込順。当日空きがあれば当日参加も可）

★申 込：電話、FAX、メールのいずれかで下記申込先へ

※手話通訳が必要な方は3月22日(木)までにご連絡ください。



申込・問合せ先：港区役所 協働まちづくり推進課（教育・人権啓発グループ）

TEL:06-6576-9940 FAX:06-6572-9512 Eメール:lg0002@city.osaka.lg.jp

大阪市港区 LGBT アライアンス

レインボーカフェ3710

◆日 時

毎月第4火曜日
19:00～20:30

◆場 所

港区民センター
(港区弁天2-1-5)

◆手話通訳あります

LGBT、アライアンス(アライ)とは

LGBTはレズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダーの略称で、それぞれの頭文字をとっています。また、身体の性が典型的でないインターセックス(性分化疾患)等、全ての性的マイノリティ全体を指して用いる場合もあります。

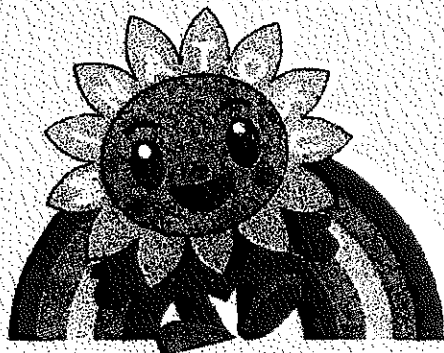
アライアンスは同盟という意味の英語。アライはその略で日本では「支援者」を指す言葉として使われます。なお、アメリカなどでは性的少数者への差別をなくすため等の取組をする「ゲイ・ストリート・アライアンス」や「LGBT・ストリート・アライアンス」という名称の団体が多くの高校や大学などに設置されています。

多様性を力にする社会の実現に向けて、みなさんも参加しませんか？

港区では、世代や性別、国籍・文化、障がいの有無などの違いを認め合い、個性と能力を発揮できる、多様性を尊重し合う共生社会づくりを進めています。

この『レインボーカフェ^{みもと}3710』は、港区役所と大阪大学が共催して実施した LGBT(性の多様性)についてのセミナーの参加者が中心となって、多様性を力にできる社会づくりについての取り組みを行うためにつくった集まりです。誰もがいきいきと暮らせるまちづくりを目指し、港区でどのような取り組みが可能かを考え、啓発事業などを実際に企画、実施しています。

現在の参加者は LGBT 当事者とその友人やアライ(協働パートナー)です。また、ろう者と手話ができる人もいます。集まりの趣旨に賛同いただける方であればどなたでも参加いただけます。多様性を活かし力に変える社会の実現に向けて、是非みなさんもご参加ください。



お問い合わせ

大阪市 港区役所 協働まちづくり推進課

TEL: 6576-9975 FAX: 6572-9512

MAIL: tg0002@city.osaka.lg.jp

「レインボーみなりん」プロジェクトをスタートします

2017 年 5 月 24 日

港区役所では、平成 28 年 7 月に策定した『港区まちづくりビジョン』に基づき「世代や性別、国籍、文化、障がいの有無などの違いを認め合い、個性と能力が発揮できる社会をめざす」ため、多様な人々が自分らしくいきいきと暮らすことができる地域づくりを進めています。この間、LGBT(性の多様性)※1 に関しても別紙「これまでの港区の LGBT に関する取組みについて」のとおり取り組んできました。

この度、更に、LGBT をはじめとした多様な人々が住みやすい、また活躍できるまちづくりに向けて、区役所が率先して取組み、区内の事業者の取組みを促進する「レインボーみなりん」プロジェクトをスタートします。

そのキックオフとして、多目的トイレの設置を奨励し、トランスジェンダーの方※2 が利用しやすくするため、「レインボーみなりん」ステッカーを多目的トイレに掲出していただける企業・事業所を募集します。ふるってのご参加、お願いします。

※1 レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダーの略称。身体の性が典型的でないインターセックス(性分化疾患)等、全ての性的マイノリティを指して用いる場合もあります。

※2 身体の性と心の性(性の自己意識)が一致しない、性別に違和を感じている人々。

募集概要

対象

港区内に本店・支店・営業所がある企業・事業所

申込方法

- ・事前にご連絡をいただき多目的トイレ表示用「レインボーみなりん」ステッカー掲出申込書の多目的トイレの形態についてご確認いただいたうえで、ステッカー掲出申込書に必要事項を記入し、港区役所協働まちづくり推進課教育・人権啓発グループへ提出してください。
- ・一般に共用されている多目的トイレでその形態がバリアフリー及び車いす対応トイレで男女のトイレの中になく、単独で個室になっていることが必須条件です。



申込・問合せ先

港区役所協働まちづくり推進課教育・人権啓発グループ(大阪市港区市岡 1-15-25)

電話 06-6576-9975 ファックス 06-6572-9512

港区

LGBTXアライ交流会

★日 時：8月20日(日) 13時30分～15時30分

★場 所：港区民センター 松竹(2F)

★対象者：興味のある方は誰でも！

★持ち物：・飲み物(お酒類はお断り)
※お菓子はこちらで準備します。
・参加したい気持ち
・参加費無料

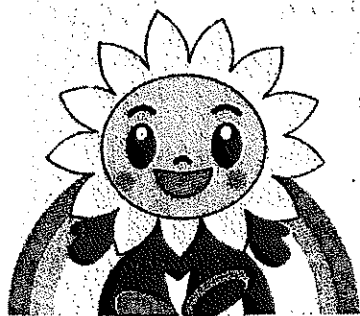
★定 員：先着40名

(事前申し込み者を優先します。定員に
満たない場合は、当日参加も可能です。)
※当日は手話通訳がつきます。

★申込&問合わせ先

レインボー3710(みなと)事務局

メール：rainbowminato3710@gmail.com



主催：レインボー3710(みなと)
協力：港区役所
多様性を尊重しあう共生社会づくり事業

